2026年10月21日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
11,666万kW
14時、116,661 MW（10エリア同時刻合計）

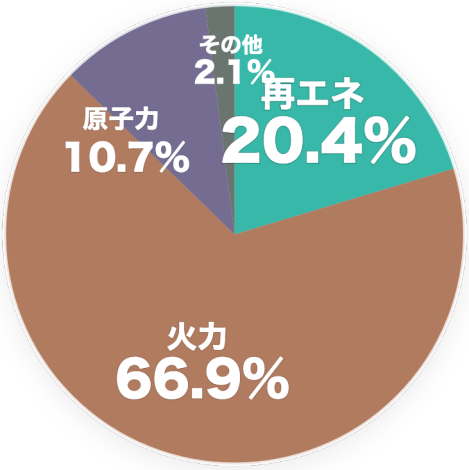
☀ 太陽光ピーク
2,992万kW
11時、29,916 MW（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
392万kW
21時30分、3,923 MW

◇ 再エネ最大需要比
35.6%
12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
74.3 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
68.7 GWh



概況

再エネ比率トップ

東北 30.9%

83.3 GWh

出力抑制量

0.0 GWh

最大: 北海道 0.0 GWh

揚水・蓄電の充電

42.3 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 北海道のデータが取得できなかったため、本日報は取得できた9エリアによる暫定版です。
- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、15:30に3,760万kWでした。
- 再エネ比率は東北が最も高く、発電電力量ベースで30.9%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**20.4%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**476 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**2,340 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**35.6%**	12時
出力抑制量	**0.0 GWh**	最大: 北海道
揚水・蓄電の充電	**42.3 GWh**	発電構成比には含めない

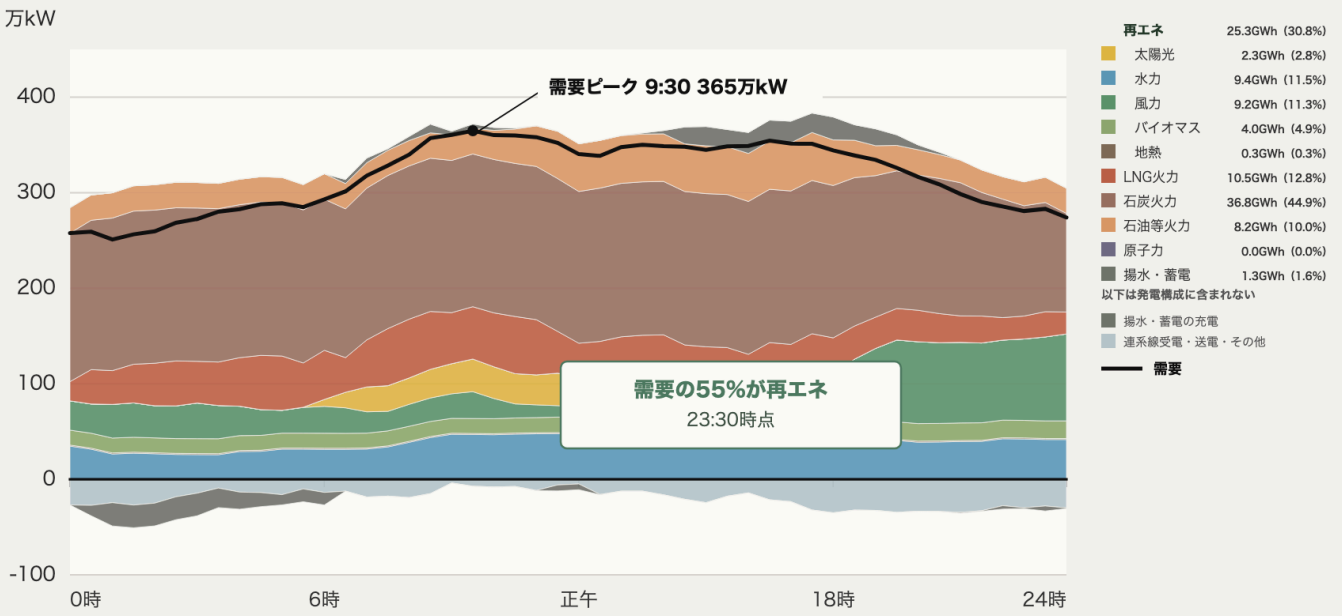
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**30.8%**	**25.3**	**0.0**	**送電 4.8**
東北	**30.9%**	**83.3**	**0.0**	**送電 68.7**
東京	**14.1%**	**95.6**	**0.0**	**受電 74.3**
中部	**23.5%**	**80.0**	**0.0**	**受電 38.2**
北陸	**30.3%**	**24.6**	**0.0**	**送電 10.9**
関西	**17.3%**	**58.4**	**0.0**	**受電 62.3**
中国	**14.8%**	**23.3**	**0.0**	**送電 3.5**
四国	**24.5%**	**25.1**	**0.0**	**送電 33.6**
九州	**21.9%**	**58.3**	**0.0**	**送電 36.2**
沖縄	**10.1%**	**2.8**	**0.0**	—

2026年10月21日の供給実績

北海道エリア

再エネ

北海道エリア 2026年10月21日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
需要ピーク
連系線・その他
揚水・蓄電の充電
出力抑制

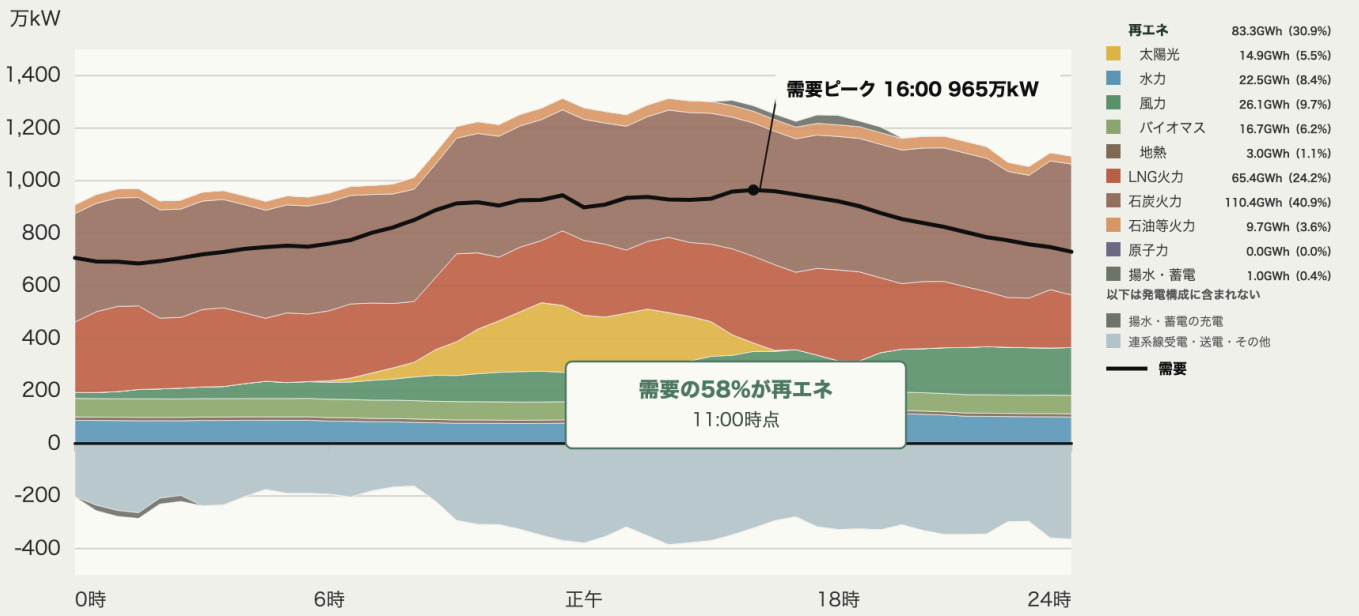
概況

2026年10月21日の供給実績

東北エリア

再エネ
83.3GWh
（発電電力量ベース30.9%）

東北エリア 2026年10月21日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
269.7GWh

需要ピーク
16:00、965万kW

連系線・その他
68.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.6GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

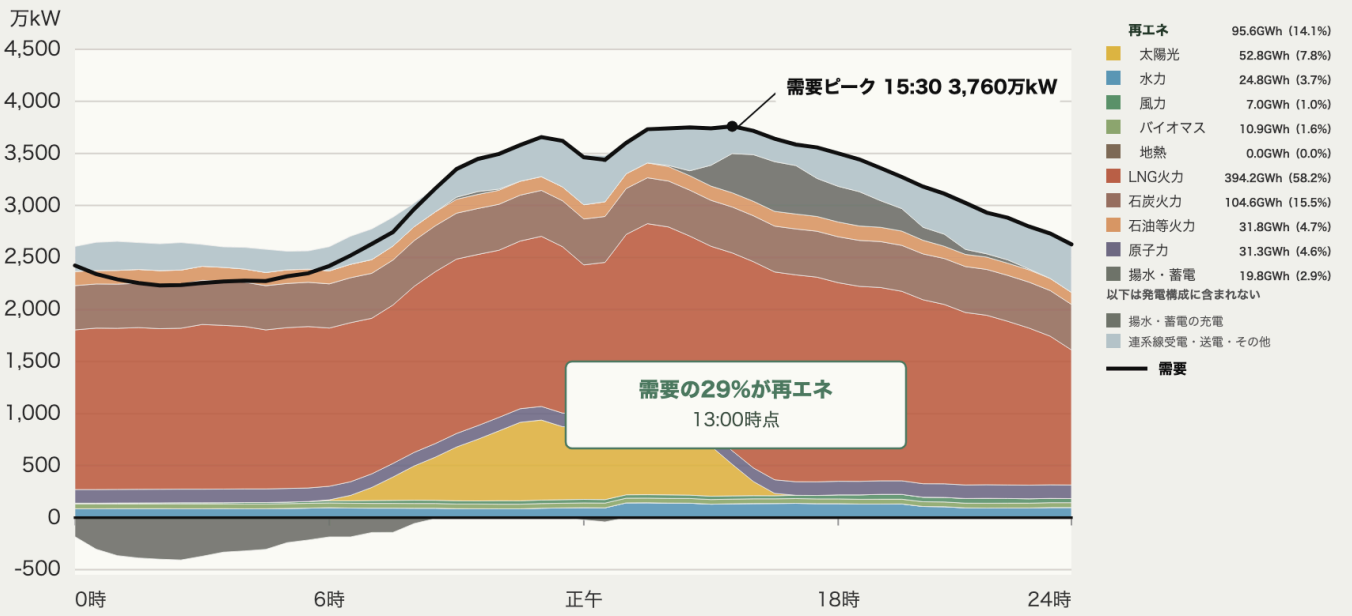
東北は、太陽光ピーク261万kW、風力ピーク183万kWで、時間別の再エネ最大需要比は57.8%だった。

2026年10月21日の供給実績

東京エリア

再エネ
95.6GWh
（発電電力量ベース14.1%）

東京エリア 2026年10月21日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
677.3GWh

需要ピーク
15:30、3,760万kW

連系線・その他
74.3GWhの受電

揚水・蓄電の充電
23.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

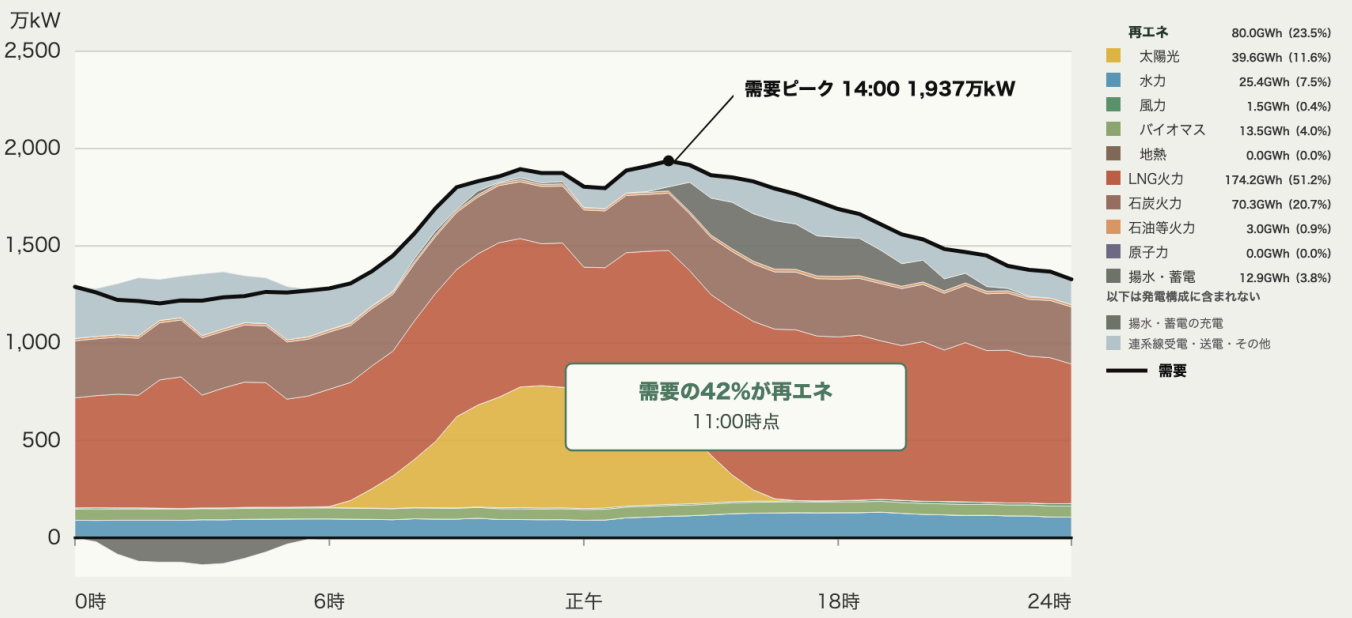
東京は、太陽光ピーク828万kW、風力ピーク48万kWで、時間別の再エネ最大需要比は29.1%だった。

2026年10月21日の供給実績

中部エリア

再エネ
80.0GWh
（発電電力量ベース23.5%）

中部エリア 2026年10月21日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
340.3GWh

需要ピーク
14:00、1,937万kW

連系線・その他
38.2GWhの受電

揚水・蓄電の充電
4.8GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

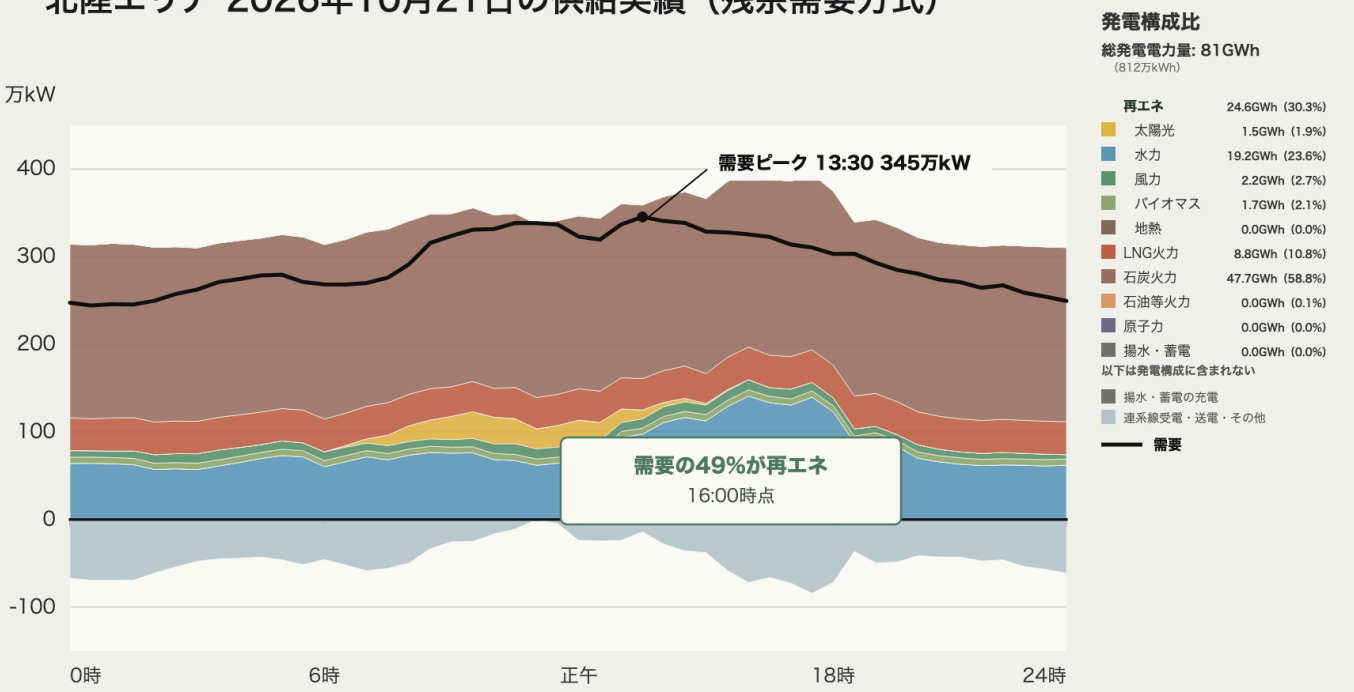
中部は、太陽光ピーク629万kW、風力ピーク14万kWで、時間別の再エネ最大需要比は42.8%だった。

2026年10月21日の供給実績

北陸エリア

再エネ
24.6GWh
（発電電力量ベース30.3%）

北陸エリア 2026年10月21日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
81.2GWh

需要ピーク
13:30、345万kW

連系線・その他
10.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

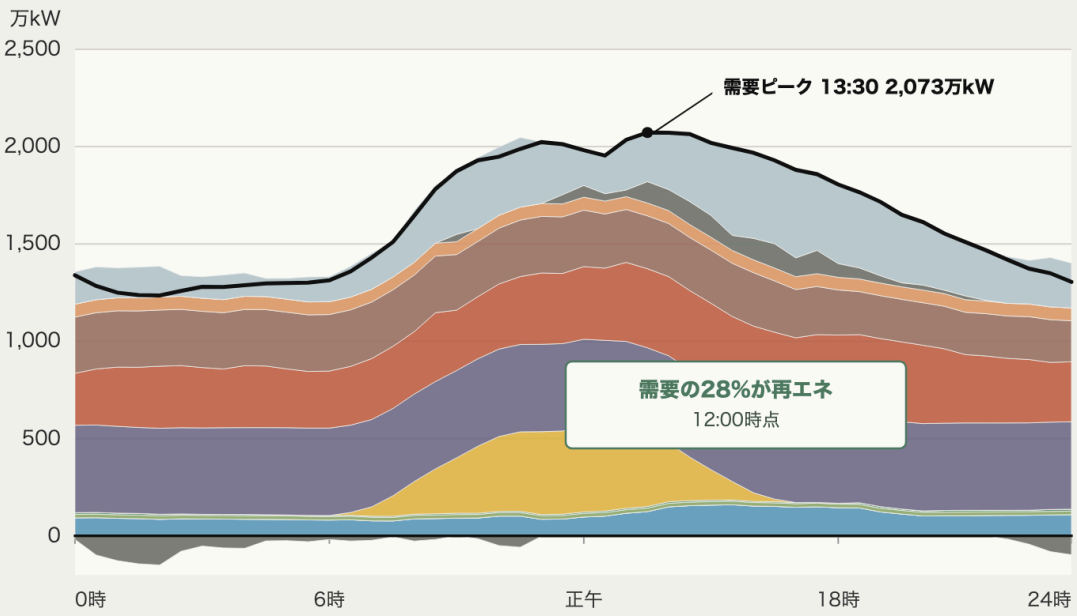
北陸は、太陽光ピーク30万kW、風力ピーク12万kWで、時間別の再エネ最大需要比は50.4%だった。

2026年10月21日の供給実績

関西エリア

再エネ
58.4GWh
（発電電力量ベース17.3%）

関西エリア 2026年10月21日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比
総発電電力量: 337GWh
（3,370万kWh）

再エネ	58.4GWh (17.3%)
太陽光	26.6GWh (7.9%)
水力	25.7GWh (7.6%)
風力	1.7GWh (0.5%)
バイオマス	4.4GWh (1.3%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	84.0GWh (24.9%)
石炭火力	64.0GWh (19.0%)
石油等火力	15.9GWh (4.7%)
原子力	107.5GWh (31.9%)
揚水・蓄電	7.2GWh (2.1%)

以下は発電構成に含まれない
揚水・蓄電の充電
連系線受電・送電・その他
需要

出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
337.0GWh

需要ピーク
13:30、2,073万kW

連系線・その他
62.4GWhの受電

揚水・蓄電の充電
6.8GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

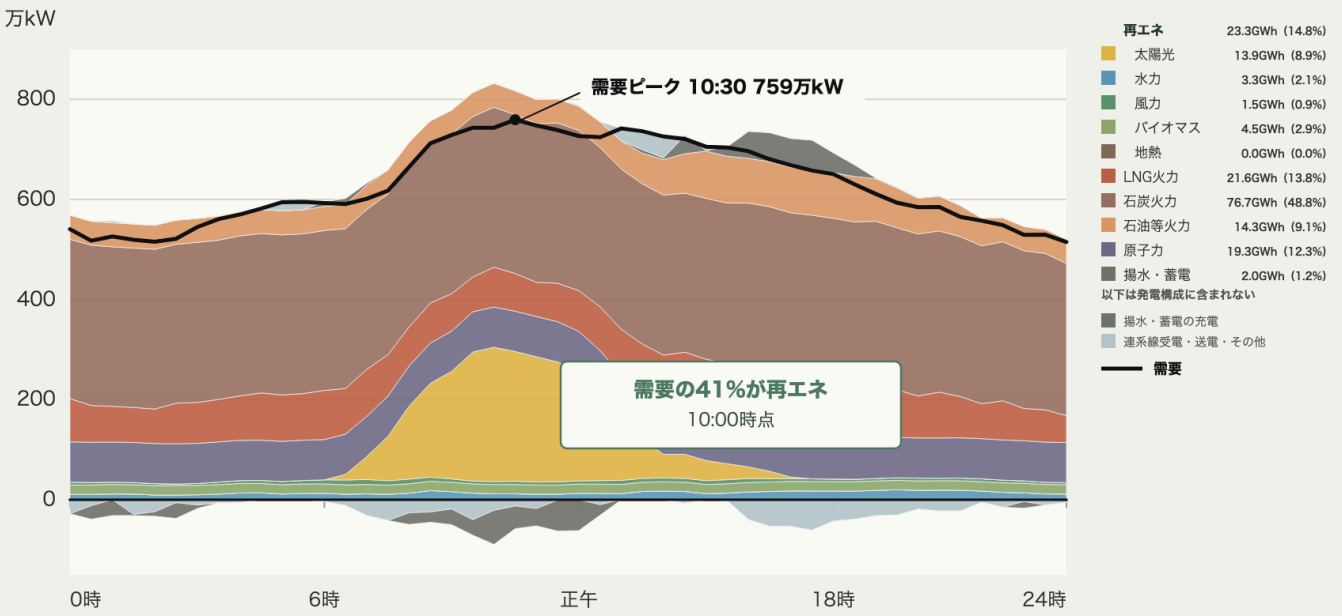
関西は、太陽光ピーク439万kW、風力ピーク10万kWで、時間別の再エネ最大需要比は28.5%だった。

2026年10月21日の供給実績

中国エリア

再エネ
23.3GWh
（発電電力量ベース14.8%）

中国エリア 2026年10月21日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
157.2GWh

需要ピーク
10:30、759万kW

連系線・その他
4.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電
2.6GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

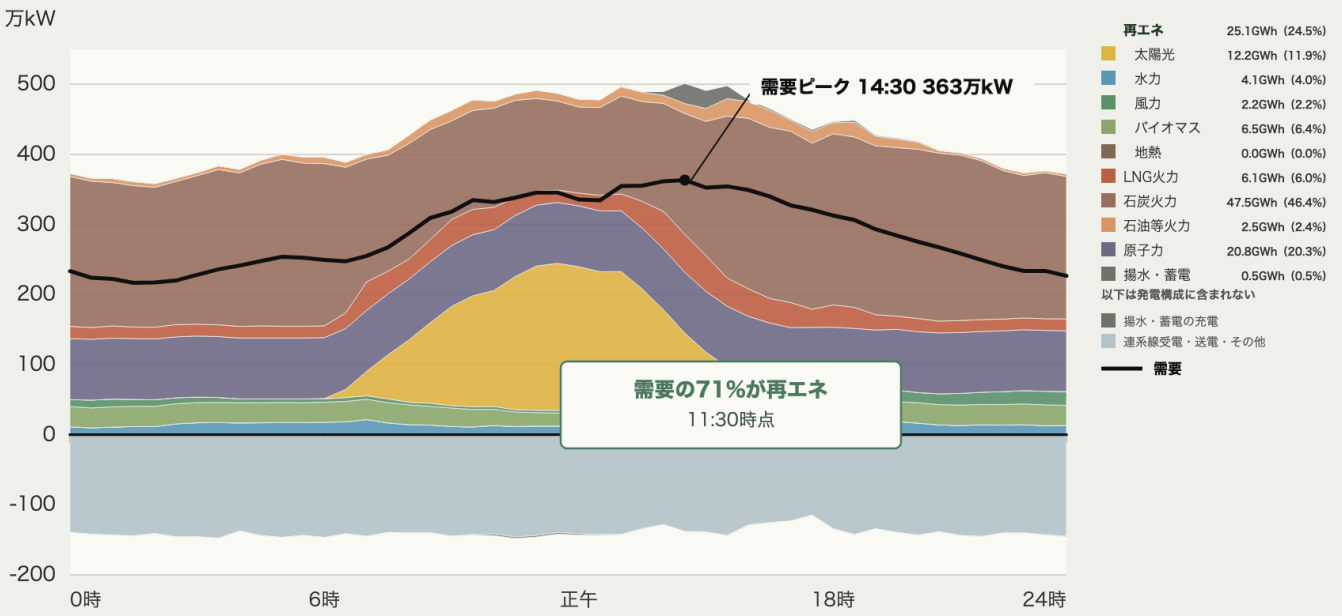
中国は、太陽光ピーク268万kW、風力ピーク10万kWで、時間別の再エネ最大需要比は41.0%だった。

2026年10月21日の供給実績

四国エリア

再エネ
25.1GWh
（発電電力量ベース24.5%）

四国エリア 2026年10月21日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
102.5GWh

需要ピーク
14:30、363万kW

連系線・その他
33.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

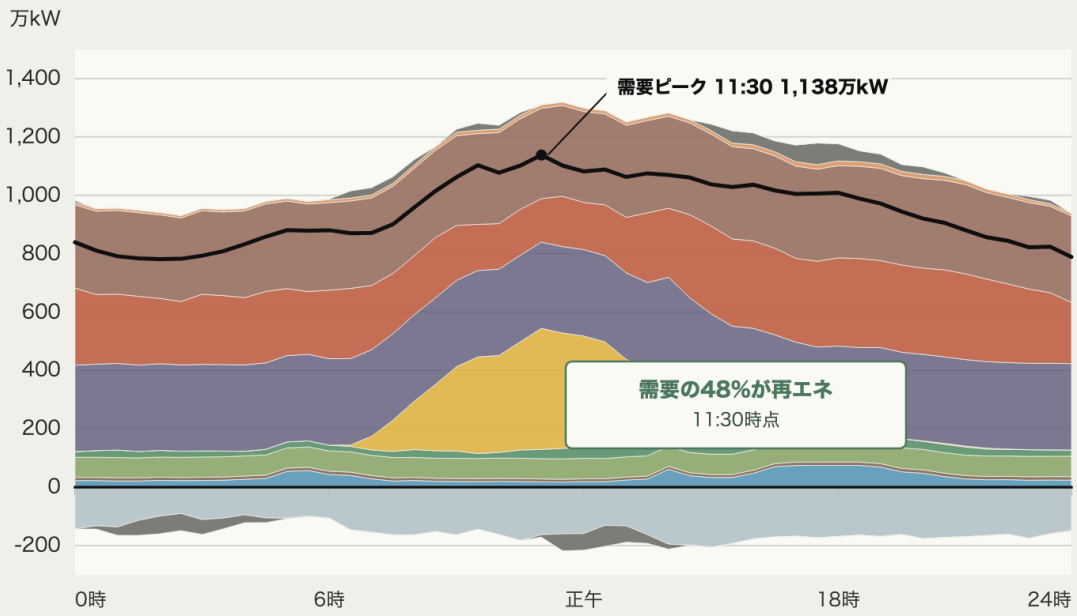
四国は、太陽光ピーク210万kW、風力ピーク20万kWで、時間別の再エネ最大需要比は71.5%だった。

2026年10月21日の供給実績

九州エリア

再エネ
58.3GWh
（発電電力量ベース21.9%）

九州エリア 2026年10月21日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比
総発電電力量: 266GWh
（2,658万kWh）

再エネ	**58.3GWh (21.9%)**
太陽光	24.4GWh (9.2%)
水力	8.4GWh (3.2%)
風力	6.2GWh (2.3%)
バイオマス	16.7GWh (6.3%)
地熱	2.6GWh (1.0%)
LNG火力	57.6GWh (21.7%)
石炭火力	72.9GWh (27.4%)
石油等火力	2.7GWh (1.0%)
原子力	71.0GWh (26.7%)
揚水・蓄電	3.3GWh (1.2%)

以下は発電構成に含まれない
揚水・蓄電の充電
連系線受電・送電・その他
需要

出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
265.8GWh

需要ピーク
11:30、1,138万kW

連系線・その他
36.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電
3.2GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

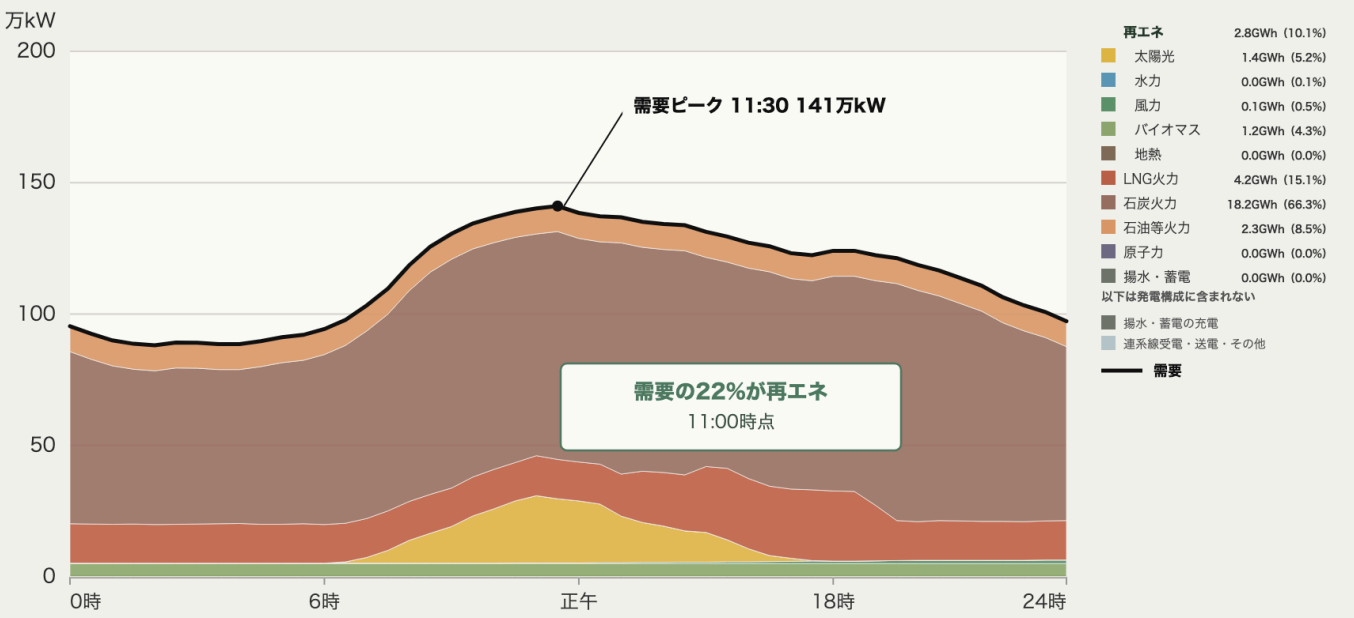
九州は、太陽光ピーク415万kW、風力ピーク39万kWで、時間別の再エネ最大需要比は48.0%だった。

2026年10月21日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
2.8GWh
（発電電力量ベース10.1%）

沖縄エリア 2026年10月21日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
27.4GWh

需要ピーク
11:30、141万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク26万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は22.0%だった。